

所在地：京都府京都市

選定年月日：平成27年10月7日

面積：1,12.5 ha

選定基準：二(一)(五)(七)(八)

(1) 概要

京都東山の麓、白川の扇状地に位置する岡崎は、平安時代には院政が執り行われた白河殿(しらかわどの)のほか、六勝寺(りくしょうじ)の大伽藍及び園池が造営された地域です。

応仁の乱の後、農業を主体とする地域となり、岡崎村、聖護院(しょうごいん)村として都市近郊農業が成立しました。近世には白川の支流が灌漑用水として流れていたことが分かります。近代には、殖産興業策の一つとして琵琶湖疏水が建設され、水運、水力発電等によって京都の近代化の礎を築くとともに、平安遷都1100年記念祭及び第4回内国勧業博覧会が開催されました。また、南禅寺界隈では別荘の開発が進み、疏水の水を活用した庭園群が形成されてきました。博覧会跡地には岡崎公園、京都市美術館等の文化施設が建設され、京都を代表する文教地区として現在に至ります。

京都岡崎の文化的景観は、白川の扇状地の利点を最大限に活用し、古代から中世には寺院群、中世から近世には都市近郊農業、近代には琵琶湖疏水の開削に伴い文教施設や庭園等が展開するなど、大規模土地利用を経た京都市街地周縁部における重層的な土地利用変遷を現在に伝えるものです。



岡崎公園界隈



琵琶湖疏水

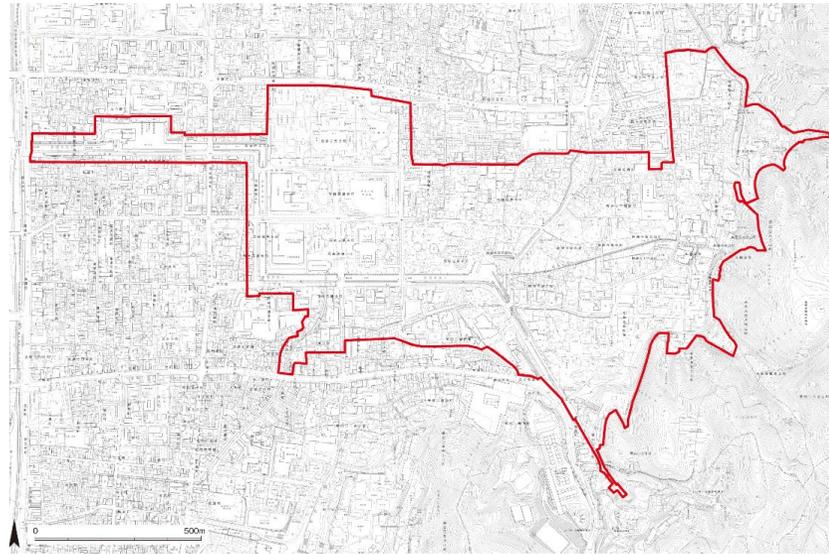


別邸群のアカマツ



祝祭空間としての神宮道と平安神宮大鳥居

（2）選定範囲



重要文化的景観の選定範囲

- 重要な構成要素：46件
- 国指定等文化財：南禅寺方丈（国宝）、南禅寺三門・勅使門（重要文化財）、金地院本堂・茶室（八窓席）・東照宮（国重要文化財）、清流亭主屋・寄付・立礼席（重要文化財）、旧武徳殿（重要文化財）、平安神宮（重要文化財）、琵琶湖疏水（水路閣・インクライン・第三隧道出口部）（史跡）、南禅寺境内（史跡）、南禅寺方丈庭園（名勝）、金地院庭園（名勝）、南禅院庭園（名勝）、無鄰庵庭園（名勝）、對龍山莊庭園（名勝）、平安神宮神苑（名勝）、旧並河靖之邸主屋・工房・窯場（登録有形文化財）、順正南禅寺本店（順正書院）書院・石門（登録有形文化財）、平安神宮額殿・斎館・神楽殿・翼廊・西祭器庫・西神庫・西門及び西外廻廊・東祭器庫・東神庫・東門及び東外廻廊・透塀及び後門・内廻廊・南歩廊（登録有形文化財）、平安神宮大鳥居（登録有形文化財）、西川家住宅主屋・土蔵（登録有形文化財）

（3）選定による効果

岡崎地域は都市部にあるため不動産取引も活発ですが、売買に伴う重要事項説明書に重要文化的景観であることが記載されるため、転入者にも地域の景観特性を理解してもらう機会となっています。

また、選定後は岡崎地域に住む人々がその価値を理解し、主体的に保存・保全に向けて取り組む気運を醸成するため、地域内にある施設でのパネル展や地域を周遊するバス内での広報、まち歩きイベントの開催などを行いました。文化的景観としての価値を、行政や地域住民といった立場を越えて共有していくことで、新たな関わりも生まれつつあります。



京都市動物園でのパネル展示



まち歩き（京都府立図書館前）

（4）保存活用計画などの基礎情報

- 京都岡崎の文化的景観調査報告書（平成25年3月、京都市）
- 京都岡崎の文化的景観保存計画（平成27年1月、京都市）
- ホームページ
<https://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000284961.html>

(5) 活用事例

事例26-03 ①

文化的景観を「絵本」で分かりやすく伝える

文化庁補助金

●行政による取り組み

「文化的景観」と聞いても、なかなかイメージが湧かず、わかりやすく説明するのは少し難しい、といった方が多いのではないのでしょうか。

京都市では、「時間を旅する絵本」として、「京都岡崎の文化的景観」を皆様にわかりやすく理解いただけるよう、2冊の絵本を作成しました。

1冊は「『京都岡崎の文化的景観Ⅰ』岡崎公園ー洛東にできた都市の広場ー」。岡崎地域での土地利用の歴史や特徴を記しています。

もう1冊は「『京都岡崎の文化的景観Ⅱ』白川と疏水ー都市をめぐる水の冒険ー」。琵琶湖疏水の歴史や岡崎の風景と水の関わりについてわかりやすく解説しています。

作成した絵本は京都市内の公共施設や岡崎地域の美術館などにも配架したほか、京都市ホームページ内にデジタルブックとしても公開しており、より多くの方々に「京都岡崎の文化的景観」を理解いただけるよう、普及啓発に努めています。

団体等情報：京都市ホームページ デジタルブック
<https://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000284961.html>



時間を旅する絵本『京都岡崎の文化的景観Ⅰ』岡崎公園ー洛東にできた都市の広場ー



時間を旅する絵『京都岡崎の文化的景観Ⅱ』白川と疏水ー都市をめぐる水の冒険ー

① 地域内での
魅力の共有

② 活性化の
共有

③ 広域外への
広報

④ 魅力を引き
出す開発

⑤ 財源の
確保と運用

⑥ 人づくり

（5）活用事例

事例26-03 ②

産学官民の連携による、岡崎を知る「オカシル連続講座」の開催

文化庁補助金

●行政と住民等の協働による取り組み

「京都岡崎の文化的景観」の普及啓発を目的に、平成26年度から令和元年度まで岡崎地域の個性を形作る歴史や文化の深みを知っていただくことを目的とした「オカシル連続講座」を開催しました。

この講座は、岡崎地域の施設や団体、事業者などで構成された「京都岡崎魅力づくり推進協議会」、京都市文化財保護課、奈良文化財研究所が連携して実施したものです。順正南禅寺本店や平安神宮といった重要な構成要素で開催し、有識者による講演のみならず、まち歩きや抹茶体験など、「京都岡崎の文化的景観」を構成する3つの価値である「景勝ヒンターランドとしての場所性・象徴性」、「白川・琵琶湖疏水による持続的・複合的水利用」、「反復的大規模土地利用によって生まれた地域構造」を体感できる機会を創出しました。

「京都岡崎魅力づくり推進協議会」は、岡崎地域活性化ビジョン（平成23年3月、京都市策定）の推進を担う官民連携のエリアマネジメント組織として平成23年7月に設立。現在も広報冊子などで地域内外の方々への魅力の発信に努めています。

参加者の声

都心にありながら高層建築がなく広い空間が保たれていることが岡崎の良さと認識しています。明治からのパビリオンとしての土地利用を踏まえ、京都市内で他に類を見ない特長として捉え、保全されることを望みます。



岡崎の文化と価値を次世代につなげるため、平成28年度は親子向けの「およこオカシル」も開催
（左：無鄰菴での抹茶体験 右：平安神宮 神苑内での生きもの観察）



順正南禅寺本店での講演の様子



京都大学医学部構内で出土した資料の見学
（於：平安神宮 勅使館）

団体等情報：京都市ホームページ京都岡崎魅力づくり推進協議会
<https://kyoto-okazaki/sitepolicy/>

① 地域内での
魅力の共有

② 活性化の
共有

③ 地域外への
広報

④ 魅力を引き
出す開発

⑤ 財源の
確保と運用

⑥ 人づくり